

中津市上如水・大悟法地区

(大分県中津市)

計 画 期 間 平成 17 年度～21 年度
 面 積 16.7ha
 交付対象事業費 262.6 百万円
 市人口 85,661 人 (地区内人口 821 人)

ポイント

公営住宅を核とした、緑の田園風景の継承を目指したまちづくりを創造

地区概要

コミュニティ道路としての役割を基本に街路樹等により緑を創出するなど環境形成型の魅力有る道路空間の整備を図る。また、田園的景観環境イメージを継承し、既存の緑を活用すると共に人々の生活の中に溶け込んだ緑や緑化空間の整備を図る。

目 標

緑豊かな住宅環境の整備と住む人が生活しやすく心くばりされた街づくりを目指す。
 公園や道路などの生活基盤の整備により地区内の人口の増加を目指す。

指 標

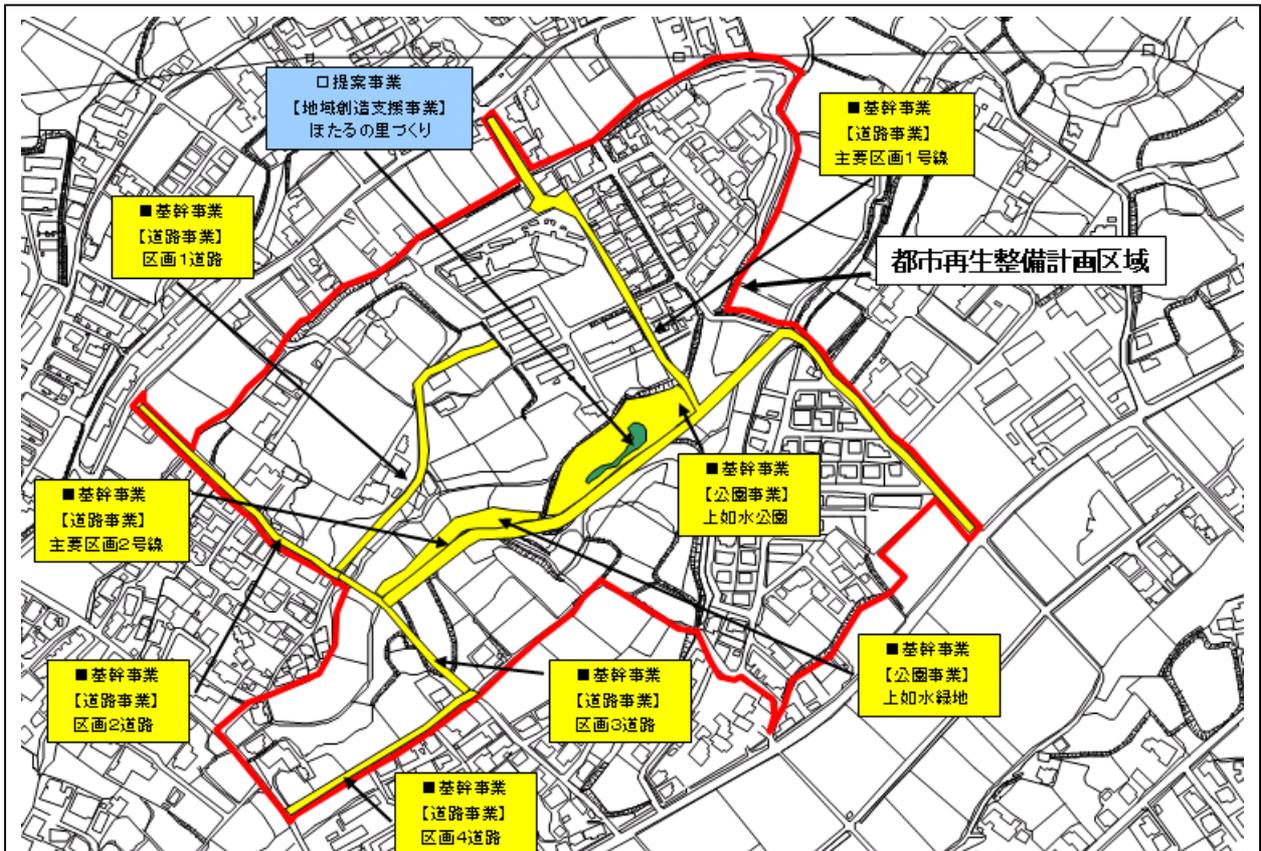
緑豊かな住宅環境の整備と住む人が生活しやすく心くばりされた街づくりを目指す。

公園や道路などの生活基盤の整備により地区内の人口の増加を目指す。

景観向上と生活道路 のバリアフリー	12% (H15)	60% (H21)
居住人口の増加	746 人 (H15)	785 人 (H21)

事業内容

基幹事業 (259.6 百万円) 道路 (延長 1,614m) 公園 (2カ所 6,200 m²)
 提案事業 (3.0 百万円) ほたるの里 (200 m²) 事業活用調査



地区の現況と課題

本地区は中津市の中心的位置にあり、市街化区域であるが農地と樹林地が多く残っており、斜面緑地等の地形の起伏に富んだ田園的な景観と環境をもった地区であり、戸建住宅と中低層の公営住宅の居住地区である。しかし、現在のまま放置した場合は、住宅化の進行とともに道路等のネットワークの整備がなされないままに、この緑豊かな田園的景観と環境は失われる可能性が高いという課題をかかえている地区である。

基幹事業の特徴

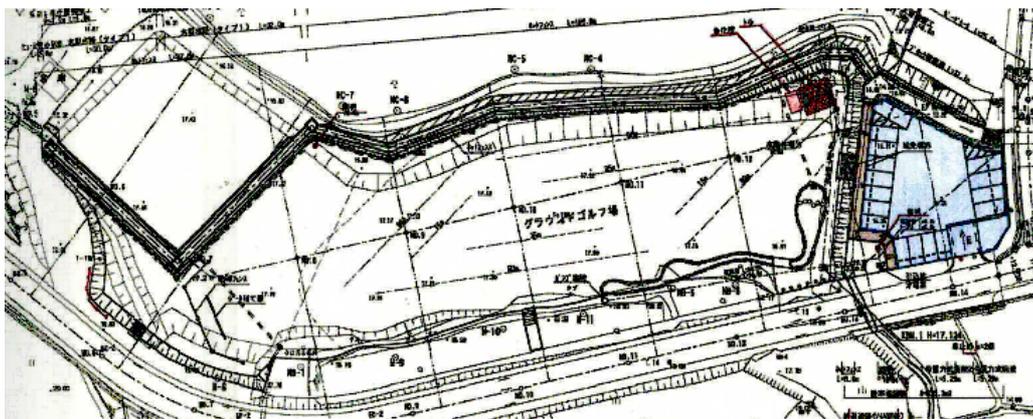
- ・緑豊かな住宅環境の整備と住む人が生活しやすく心くばりされた街づくり
コミュニティ道路としての役割を基本に街路樹等により緑を創出するなど環境形成の魅力ある道路空間を整備する。
- ・生活の中で利用される公園の整備や緑の景観形成
現存する田園的景観環境イメージを継承し、既存の緑を活用すると共に人々の生活の中に溶け込んだ緑や緑化空間を整備する。

提案事業の特徴

ほたるの里づくり

公園については、可能な限り、現在の自然環境を残した植栽等の生態系に配慮した整備を行い、ほたるやトンボ等の昆虫や小鳥等の生息が可能な公園を目指して整備する。

公園内に清流を象徴する「ほたる」の飼育水路を設置し、行政と地域が一体となって飼育活動を行う。



ほたるの飼育水路を備えた上如水公園（完成予想図）

計画策定プロセス

地域住民との協議

豊かな住宅環境の整備と住む人が生活しやすく心くばりされた街づくりの実現に向けて、住民の要望を整備計画に取り入れた。



バリアフリー化された道路